

令和8年度

令和8年度 下水道施設清掃等業務

特記仕様書

弘前市 上下水道部 下水道施設課

業 務 概 要

下水道施設に関する維持管理(管路及び施設内排水管の閉塞除去、調査、水替等)の緊急作業、災害時における予防及び復旧作業、1箇所当たりの規模が小さくそれらが点在しているなど、通常の委託発注になじまない清掃・調査等を行うものである。

業 務 期 間 又 は 業 務 日 数

○	業務期間 令和9年5月31日まで
	業務日数 日

(適用範囲等)

第1条 この仕様書は、弘前市（以下「発注者」という。）が委託した下水道施設清掃等業務（以下「作業」という。）に適用する。

2 この仕様書に定めのない軽微な事項については、発注者の指示によるものとする。

(業務内容)

第2条 受注者は、委託期間中は常に作業ができるよう準備体制を整えておかなければならない。

2 受注者は、発注者が指定する下水道施設（以下「施設」という。）について、作業を実施するものとする。

3 受注者は、台風・大雨・地震・その他の災害・緊急作業時において、発注者の要請があった場合は速やかに対応できる体制を整え、発注者の指示により復旧作業等を実施しなければならない。

4 受注者は、発注者の要請があった場合は、特別の理由が無い限りこれを拒んではならない。

5 受注者は、作業を開始するとき及び完了したときは、その旨を発注者に報告しなければならない。

(契約)

第3条 作業の遂行にあたって、複数単価契約を結び作業にあたる。

2 契約する単価は、下記の19項目とする。

(1) 高压洗浄車 (4t)

燃料費・損料を計上し、運転手（特殊）は含まない1時間当たりの単価。

(2) 特殊強力吸引車 (4t)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(3) 給水車 (4t)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(4) 本管TVカメラ搭載車 (2t、小中口径)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(5) 本管TVカメラ搭載車 (2t、大口径)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(6) 取付管TVカメラ搭載車 (2t、小中口径)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(7) ライトバン (1500cc)

燃料費・損料を計上し、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(8) 取付管TVカメラ（搭載車無）

取付管内をテレビカメラにて調査する際の、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(9) 管口カメラ

管口をカメラにて調査する際の、運転手（一般）は含まない1時間当たりの単価。

(10) 本管TVカメラ調査工 報告書作成

本管テレビカメラ調査を行った際の、報告書作成について、1m当たりの単価。

(11) 取付管TVカメラ調査工 報告書作成

取付管テレビカメラ調査を行った際の、報告書作成について、1箇所当たりの単価。

(12) 管口カメラ点検工 報告書作成

管口カメラ調査を行った際の、報告書作成について、1箇所当たりの単価。

(13) 土木一般世話役（清掃技師）

清掃・調査作業、諸機器類の操作について、相当程度の技術を有し、主として各種作業の指導的な業務を行う者について、1時間当たりの単価。

(14) 特殊作業員（清掃作業員）

清掃・調査作業について、諸機器類の操作技能を有し、各種作業について必要とされる主体的業務を

行う者について、1時間当たりの単価。

(15) 普通作業員（管路調査作業員）

各種作業について必要とされる補助的業務を行う者について、1時間当たりの単価。

(16) 運転手（特殊）

高圧洗浄車の運転及び機械操作の技能を有し、作業を行う者について、1時間当たりの単価。

(17) 運転手（一般）

揚泥車、給水車及びTVカメラ搭載車の運転及び機械操作の技能を有し、作業を行う者について、1時間当たりの単価。

(18) 交通誘導警備員A

警備会社の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう）に従事する交通誘導警備業務に係る検定に合格した警備員について、1日当たりの単価。

(19) 交通誘導警備員B

交通誘導警備員A以外の警備員について、1日当たりの単価。

（安全管理等）

第4条 作業の安全管理及び技術指導については、受注者の責任において行うものとする。

2 受注者は、自己の担当することとなった施設の付属物及び占用物件等の状況について、作業開始前に調査確認し、作業による事故防止に努めなければならない。

3 受注者は、作業にあたっては、常に交通誘導員を配置し、通行人及び一般車両等の誘導に従事させなければならない。

4 受注者は、作業区域前後及び目視の容易な箇所に、業務委託標示板（業務委託標示板記載例参照）を設置し、夜間には十分な照明及び保安灯を施し、通行人及び一般車両等の安全確保に努めなければならない。

（車両）

第5条 受注者は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）に基づく、車両検査に合格し、登録番号を有し、関係機関の車両検査及び車両登録された以外の車両を、作業に使用してはならない。

また、作業に使用する車両は、事前に発注者に届け出なければならない。

（騒音の防止）

第6条 受注者は、作業にあたっては、できる限り騒音の防止に努めなければならない。

（作業日報等の作成）

第7条 受注者は、作業を実施したときは、発注者の定める作業日報を作成し、発注者の指定する日までに、発注者に提出しなければならない。

2 受注者は、作業を実施したときは、作業写真を1部整備し、集合写真は現場での撮影を基本としなければならない。

3 作業時間は事務所を出発した時間から現場で作業を終えて事務所へ到達した時間、実働時間は現場での稼働時間（休憩等は含まない）を基本とする。

（業務実施報告書）

第8条 受注者は、作業発生月ごとに、業務実施報告書を別紙様式にてその他書類と共に、発注者に提出しなければならない。

2 前項の業務実施報告書には、前条第2項に定める作業写真を添付しなければならない。

3 業務実施報告書は作業発生月の翌月9日までに提出しなければならない。

- 4 作業発生月が3月もしくは5月であった場合、業務実施報告書はその月末までに提出しなければならない。ただし、提出日が土日・祝日であった場合はその前営業日までに提出しなければならない。

(土砂等の積込・運搬)

第9条 土砂等の積込、運搬にあたっては、十分な車両を配置すること。

- 2 運搬に使用する車両は、第5条で発注者に届け出した車両でなければならない。
- 3 土砂等の運搬先は、発注者より指示された場所に搬入すること。
- 4 搬入場所は、発注者より指示のあった搬入先職員の指示に従うこと。

(暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告義務)

第10条 受注者は、受注者及び下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

(その他)

第11条 受注者は、発注者が実施する環境配慮に係る取り組みへの協力要請に対して、可能な限り協力すること。

- 2 この仕様書に定めのない事項及びこの仕様書に疑義が生じた場合は、発注者・受注者協議するものとする。

(弘前市情報セキュリティポリシーの遵守)

第12条 受注者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識をもつとともに、業務の遂行に当たって「弘前市情報セキュリティポリシー」を遵守すること。

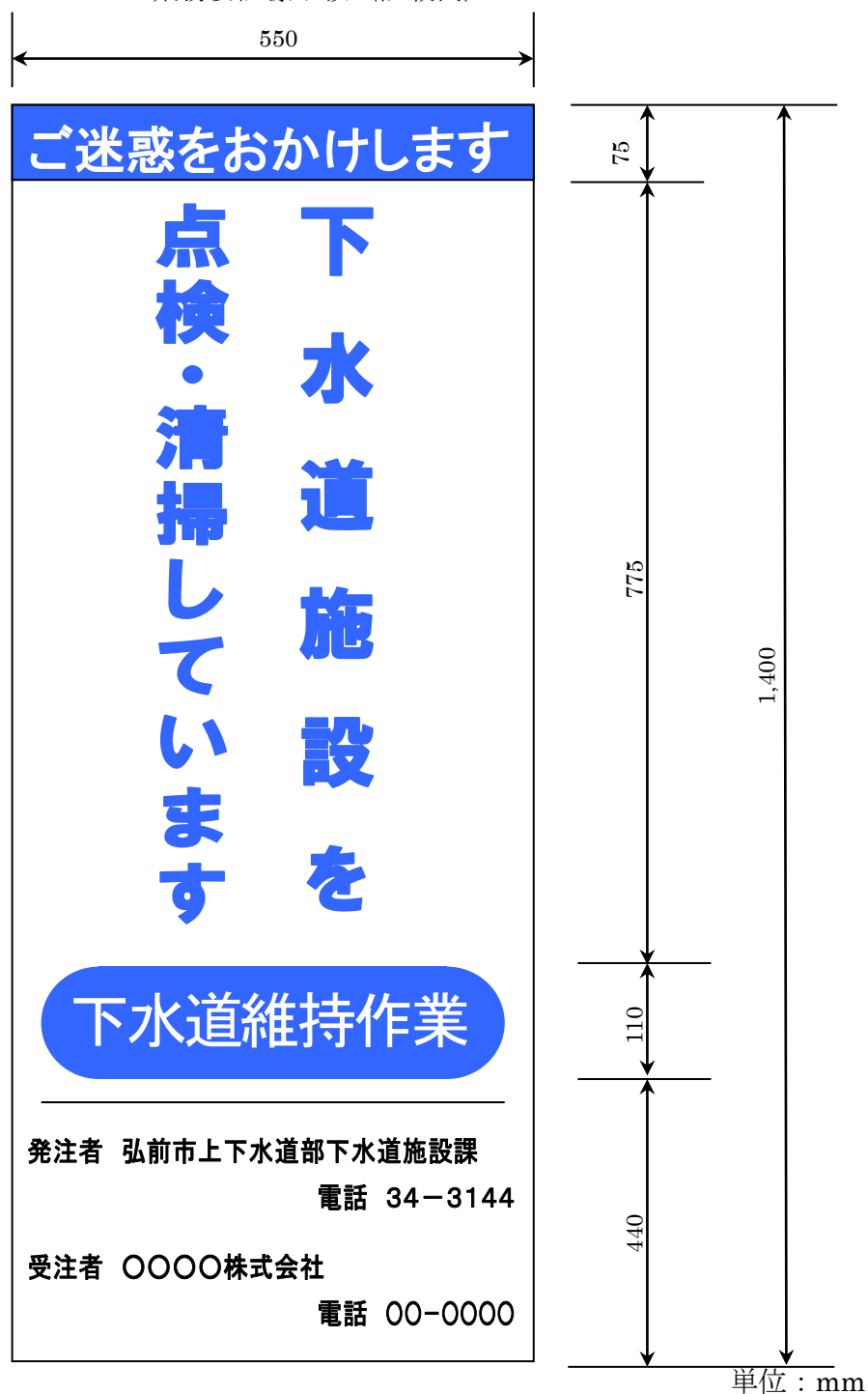
(調査情報の登録)

第13条 受注者は、業務の遂行に伴い、「SkyScraperPL-WEBGIS を活用した維持管理情報作成ルール」に基づき、調査情報を監督職員と打合せのうえ、SkyScraperPL-WEBGIS に登録すること。

業務委託標示板

業務委託標示板は、下記の記載例のとおりとする。業務区間の見やすい箇所に設置する。

業務委託標示板（記載例）



注（１）色彩は「ご迷惑をおかけします」、「下水道維持作業」は青地に白抜き文字とする。

（２）「下水道施設を点検・清掃しています」等業務内容については青色文字とする。

（３）その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。